

各報道機関文教担当記者 殿

金沢大学環日本海域環境研究センター 市民講演会「浮世絵に学ぶ科学成果の発信 ～アートと科学のマリアージュ～」を開催

この度、金沢大学環日本海域環境研究センターは、市民講演会「浮世絵に学ぶ科学成果の発信～アートと科学のマリアージュ～」を開催します。

近年、地球温暖化、越境汚染、海洋プラスチック問題等、研究成果を基盤にした政策決定の重要性が増しています。そのため、市民・行政機関へ理解される形で研究成果を発信することが求められ、最近では、アートと結びついた形で研究成果を伝える有効性が指摘され、今後の取り組みの必要性が高まっています。

今回の市民講演会の第1部では、3つの異なる観点で科学情報を発信している研究者が情報発信方法とその効果等について報告し、情報発信・情報提供にアートをどの様に活用できるのか、議論する機会を提供します。また、第2部では、環境教育ボードゲームの試遊を通して、小学生～中学生に自然環境情報を基にした社会環境を整備する方法について体験していただきます。

つきましては、事前および当日の取材・報道を、よろしくお願いいたします。

市民講演会「浮世絵に学ぶ科学成果の発信 ～アートと科学のマリアージュ～」

日 時：令和4年11月12日（土） 13：30～16：30
場 所：金沢大学サテライト・プラザ3階集会室、1階交流サロン
（金沢市西町3-16）
詳 細：別添チラシのとおり
主 催：金沢大学環日本海域環境研究センター
後 援：北國新聞社

<本件照会先>

金沢大学環日本海域環境研究センター教授 長尾 Tel：076-234-6961
金沢大学理工系事務部総務課総務係 米田 Tel：076-234-6826

市民講演会 浮世絵に学ぶ科学成果の発信

アートと科学のマリアージュ

日時：2022年11月12日(土) 13:30～16:30 (受付13時～)

場所：金沢大学サテライト・プラザ3階集会室・1階交流サロン
(〒920-0913 金沢市西町3番丁16番地)

参加無料
要申込

ボードゲーム
の試遊があり
ます!

申込方法：参加希望の方は、下記申込フォーム(QRコードからも可)
または076-234-6961(環日本海域環境研究センター事務局)

までお申込みください。《締切：11月9日(水)》

※第一部、二部ともに同じ申込フォームとなります。

申込フォーム：<https://forms.gle/AaXi15EQkq6dWNmN6>



第一部 講演会 (3階集会室)

13:30 - 開会挨拶・趣旨説明 金沢大学 環日本海域環境研究センター センター長 長尾誠也

13:40 - たとえばアーティストとして:研究成果の『使い方』
総合地球環境学研究所 経営推進部 コミュニケーション室 室長・教授 阿部健一

14:05 - ラジオパーソナリティ・画家として、アートで金沢のまちづくり
フリーアナウンサー 松岡理恵

14:30 - ボードゲームで考える閉鎖性海域の過去から未来
金沢大学 人間社会研究域 人間科学系 准教授 林直樹
金沢大学 人間社会学域 地域創造学類 栢場瑠美

14:55 - 閉会挨拶 金沢大学 環日本海域環境研究センター センター長 長尾誠也

第二部 教育ボードゲーム試遊：定員20名・小学校高学年から参加可能

(1階交流サロン)

15:20 - 15:30 説明 / 15:30 - 16:30 試遊 ※ゲームの詳細は裏面をご覧ください

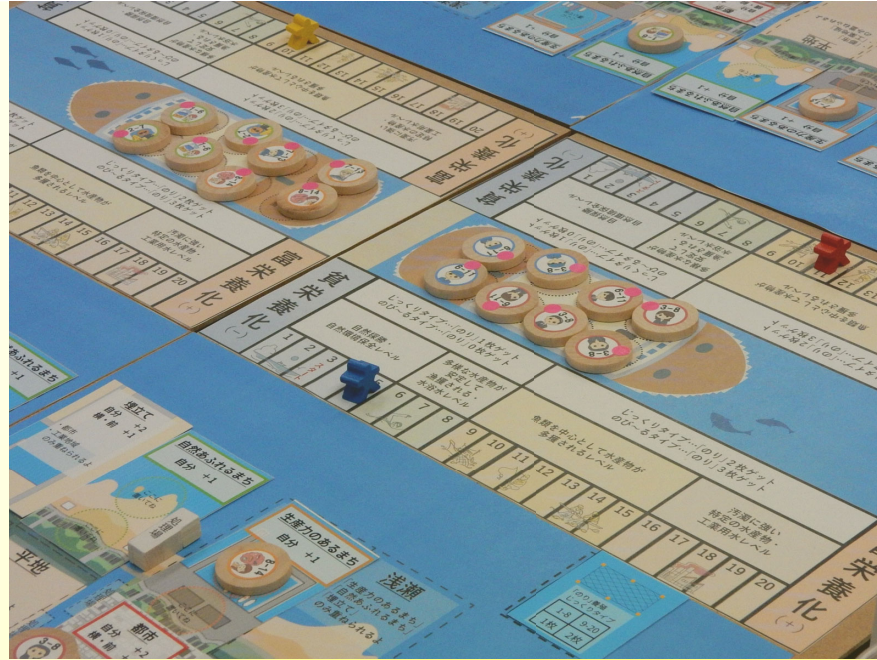
同時開催

「海を守ろう! 絵画コンクール」の作品展示について

珠洲市、能登町の児童生徒を対象とした絵画コンクールを実施しました。その中で選ばれました表彰作品を1階交流サロンで展示しております。ご来場の際はぜひご覧ください。

【お願い】

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じた上で講演を行います。状況により中止の場合はHP上でお知らせいたしますので、随時ご確認ください。当日会場ではマスク着用を必須とし、発熱等風邪症状のある方のご参加はお控えください。



環境教育ゲーム「豊かな里海と人の営み」(閉鎖性海域ゲーム)

Q1:それってどんなゲームなの?

- ・4人のプレイヤーでひとつの閉鎖性海域(瀬戸内海のような海)を開発するゲームです。ただし、海域は4つの「小海域」に区切られていて、1人のプレイヤーが管理できるのは、1つの「小海域」(沿岸陸域を含む)のみです。
- ・プレイヤーは自分の「小海域」で、都市や工業地帯の開発、下水処理場の整備、移住者の獲得、「のり」の収穫などを行うことができます。このゲームは4人のプレイヤーによる競争型のゲームであり、勝負を左右する要素は、獲得した移住者の数、獲得した養殖「のり」の数などです。
- ・「小海域」どうしは、海水でつながっています。そのため、例えば隣の「小海域」の水質が悪化すると、自分の「小海域」の水質も少し悪化するようになっています。

Q2:勝利のポイントはなに?

- ・「のり」の養殖は、水質に大きく左右されます。高得点を獲得するには、水質の未来を予想し、適切な対応をとることが求められます。ほかのプレイヤーの「小海域」にも注意が必要です。隣の水質が悪化すると、自分の「小海域」の水質も少し悪化するからです。
- ・時代(ターン)の変化に伴って、人々が居住地に求める環境が変化します。高得点を獲得するには、人々の希望を予想し、環境をコントロールすることが求められます。沿岸の環境が、その人が希望するものから外れてしまった場合、その人は出ていってしまいます。

Q3:本当に学習になるの?

- ・このゲームでは、次の4点、
 - ① 陸と海のつながり(沿岸陸域の開発により海の水質が変化)、
 - ② 海どうしのつながり(水質の変化が周辺にも波及)、
 - ③ 海と「のり」のつながり(「のり」が水質の影響を大きく受けること)、
 - ④ 時代(ターン)により、人々が海に求めるものが変化すること(「正解」自体の変化)
 について、総合的に学ぶことができます。

Q4:ゲームでなくても学習できるのでは?

- ・じゅうぶんに時間をかければ、ゲームでなくても学習は可能です。しかしゲームには、「失敗が許される空間のなかで試行錯誤が許される」という非常に大きな強みがあります。小学生高学年以上であれば、学習意欲の喚起も含め、ゲームには多くの利点があります。

会場までのアクセス

金沢大学サテライト・プラザ
〒920-0913 金沢市西町三番丁16番地
金沢市西町教育研修館内
Tel:076-232-5343

交通案内

・バス(北陸鉄道)[JR金沢駅より約5分] → 武蔵ヶ辻で下車後、徒歩[約5分](上堤町信号から尾崎神社へ進み、左側)
・台数限定で会場駐車場が利用できます。(要問合せ:076-234-6961まで)